



平成21年5月14日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 (東証・大証第一部)
 代 表 者 代表取締役 社長 福井 秀明
 問 合 せ 先 執行役員 財務部長 小島 真也
 TEL (06)6538-7724

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第4四半期におきまして、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせするとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成20年11月11日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 連結業績予想数値の修正

平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年11月11日発表)	156,000	1,000	100	△ 16,700	△ 128.82
今回修正予想 (B)	158,500	2,500	1,500	△ 23,200	△ 178.25
増減額 (B-A)	2,500	1,500	1,400	△ 6,500	
増減率 (%)	1.6	150.0	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	166,893	△ 1,918	△ 3,091	△ 12,963	△ 101.59

2. 個別業績予想数値の修正

平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年11月11日発表)	71,000	200	100	△ 14,800	△ 114.17
今回修正予想 (B)	71,100	1,800	1,600	△ 22,800	△ 175.17
増減額 (B-A)	100	1,600	1,500	△ 8,000	
増減率 (%)	0.1	800.0	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	71,992	△ 3,660	△ 3,533	△ 18,106	△ 141.89

3. 修正の理由

(1) 通期連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、厳しい業界環境を背景に機械部門他で減少の見込となる反面、鉄管部門他の増加がこれを上回り増収となる見込であります。

また、増収ならびに利益率の改善などにより営業利益、経常利益も前回発表予定から増益となる見込であります。

一方、以下の特別損失を計上することにより、結果として23,200百万円の当期純損失の見込みであります。

なお、平成20年11月11日業績予想修正から増加した主な特別損失は有価証券評価損として4,051百万円、鉄管課徴金引当繰入として2,934百万円、貸倒引当金繰入として1,743百万円となります。

<特別損失の内訳> 百万円

項目	金額	内訳
事業再編損	8,043	栗本建設工業㈱他の事業再編に伴う損失
有価証券評価損	5,831	保有有価証券の評価損
貸倒引当金繰入	4,846	栗本建設工業㈱他にて発生した不良債権処理
鉄管課徴金引当繰入	2,934	独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令審決案に対する引当金
その他	3,345	
計	25,001	

(2) 通期個別業績予想修正の理由

売上高につきましては微増の見込ですが、営業利益、経常利益につきましては利益率の改善などにより、営業利益、経常利益とも増益となる見込であります。

また、以下の特別損失を計上することにより、結果として22,800百万円の当期純損失の見込みであります。

なお、平成20年11月11日業績予想修正から増加した主な特別損失は有価証券評価損失として4,015百万円、鉄管課徴金引当繰入として2,934百万円、関係会社株式評価損として1,198百万円となります。

<特別損失の内訳> 百万円

項目	金額	内訳
関係会社株式評価損	7,698	栗本建設工業㈱他の業績から判断して実施
有価証券評価損	5,784	保有有価証券の評価損失
事業再編損	5,225	栗本建設工業㈱他の事業再編に伴う損失
鉄管課徴金引当繰入	2,934	独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令審決案に対する引当金
貸倒引当金繰入	2,677	栗本建設工業㈱の業績から判断して貸付金に対して引当繰入
その他	1,215	
計	25,535	

以 上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。